

■日時 平成30年8月15日(水) ■天候 晴れ 大阪府立桃谷高等学校 通信制 対 福島県立いわき翠の杜高等学校

■球場 府中市民球場 第1試合 1回戦 ■試合時間 2時間48分 ■備考 中斷3回合計17分

■審判 球審:星 塁審:鈴木(優) 大和 小松

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9					計	安	失
桃谷・通	大阪	0	0	0	1	0	3	0	0	0					4	10	3
いわき翠の杜	南東北・福島	0	0	0	1	0	7	0	1	×					9	8	3

桃谷・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	投		中野半蔵	1	0	1	0	中2												
1	打	一	木曾川祐二	4	1	0	0			三振		投ゴ		三振		投ゴ				
2	遊	二 遊	福井康佑	4	1	1	0	二ゴ		一失			中安	三振		四球				
3	二	投 二	高崎力	2	1	0	0	三振		三振			四球							
3			松田俊喜	1	0	0	0								三振					
4	捕	遊 投	赤羽根拓	4	1	2	1	三振			遊安		左安		三ゴ					
5	左		野中守優	4	0	3	0		中安		左安		三振		右安					
6	一	捕	中村拓幹	4	0	0	0		二飛		遊ゴ		遊飛		三振					
7	三		富家康秀	4	0	1	2		三振		三振		右安		投ゴ					
8	中		国本敏光	4	0	1	0		遊飛			捕飛	三安			一飛				
9	右		金光拓志	4	0	1	0			三振		三振	三振			左安				
合計				36	4	10	3	残塁:7 併殺:0												
備考																				

■バッテリー

投手
中野半蔵
高崎力
赤羽根拓
木曾川祐二

捕手
赤羽根拓
中村拓幹

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
中野半蔵	2	6	0	2	0	0
高崎力	2 1/3	12	1	2	4	0
赤羽根拓	1 1/3	11	4	3	2	4
木曾川祐二	2 1/3	13	3	4	1	1

いわき翠の杜		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	6	7	8	9				
1	二	遊	柴田奎弥	5	1	1	0	一飛			二ゴ	二飛	中安			遊失					
2	遊	捕	新妻孝弘	3	3	0	0	投ゴ			四球	四球	振逃			振逃					
3	投		和田望	5	1	2	1	二ゴ			右飛	右飛	右3			左安					
3		右	芳賀美咲	0	0	0	0														
4	捕	投	生田目陸	3	1	1	0		二ゴ		四球		四球	右安		二ゴ					
5	中	一	馬上凌	4	1	2	2		三振		中安		右安	三失		四球					
6	一		遠藤巧斗	5	1	1	1		三振		三振		左2	三振		右飛					
6		中	横沢侑生	0	0	0	0														
7	三		後藤泰陽	3	1	1	0			投ゴ		死球	右安		三ゴ						
8	左		大武春香	4	0	0	0			三ゴ		三振	三振		三振						
9	右	二	會川青空	3	0	0	0			投ゴ		四球	三振		三振						
合計				35	9	8	5	残塁:9 併殺:1													
備考																					

■バッテリー

投手
和田望
生田目陸

捕手
生田目陸
新妻孝弘

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
和田望	8 1/3	35	9	14	1	3
生田目陸	2/3	3	1	0	1	0

■戦評

1回戦府中球場の第1試合は、初出場の大阪府代表・府立桃谷高校・通信制と5年ぶり4回目出場の南東北地区代表・福島県立いわき翠の杜高校の対戦となった。試合序盤は両先発左腕の投げ合いで無得点が続く。3回表桃谷は好投を続ける先発中野が打席でのアクシデントにより負傷交代となるが、その裏緊急登板した2番手高崎が相手打線を三者凡退に抑えチームの危機を救う。4回に両チーム1点ずつを取り合い同点で迎えた6回試合が一気に動く。先攻の桃谷が4番赤羽根7番富家の適時安打により3点を勝ち越す。一方いわき翠の杜もその裏5番馬上からの三連打に相手のミスも重なり4点を奪い逆転に成功するとその後も3番和田の適時二塁打などによりこの回打者12人で計7点を奪う猛攻を見せた。いわき翠の杜が8回に1点を追加しこのまま逃げ切るかと思われた9回、投手と一塁手が交錯し両名が負傷交代となるアクシデントに見舞われたが全員で残りのアウトを奪い9-4で勝利した。一方敗れた桃谷は第1打席で二塁手を放ち交代まで相手打線を無安打に抑えていた先発中野の負傷交代が何とも悔やまれる結果となった。また両チームとも負傷交代した仲間の分まで残りの選手が全力で戦う姿が印象に残る一戦となった。